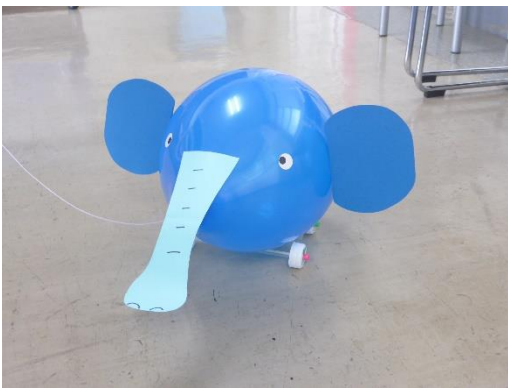


## 7月6日 手作りおもちゃ講習会（3年「子どもの発達と保育」）

富山県児童クラブ連合会事務局長理事 清水保夫先生から、身近な材料を使って、子どもの発達に合わせた手作りのおもちゃの作り方を教えていただきました。



### <生徒の感想>

・自分でおもちゃを作ることの魅力がわかりました。苦労して作ったからこそ遊びたくなるし、大切にしたいと思えるんだなと思いました。

・家にあるような身近なものだけで、こんなにかわいくておもしろいおもちゃがたくさん作れるなんてすごいと思いました。

・おもちゃを作るときは、単に簡単ということだけでなく、安全・強度などにもこだわって、丁寧に作業することが大切だと気づきました。

## 7月7日 絵本の読み聞かせ講座 (3年「子どもの発達と保育」)

大島絵本館 学芸員 田中祥子先生に、絵本のしくみや名称について、また手作り絵本の作り方について、くわしく教えていただきました。



### <生徒の感想>

・子どもの頃は、何も考えずに読んでいた絵本だけど、どのように作られているかや、作るときのポイントを知ることができた。文字の書きすぎには注意が必要だと言っておられた。子どもの頃、あきることなく楽しく読めていたのは、文字の量が考えられており、絵で伝わるものがあったからだと思った。

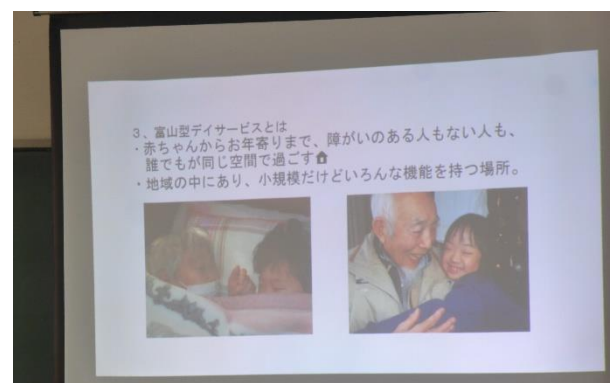
・今度絵本作りをする上でとても参考になると感じました。絵本にもたくさん種類があり、飛び出す絵本やめくる絵本、いきなり方向が変わる本など、工夫することが大事だと感じました。



## 7月22日 富山型デイサービス「ありがた家」代表者による講話

(2, 3年「社会福祉基礎」)

富山型デイサービス「ありがた家」の代表者 喜多聡美さんのお話を聞きました。



ありがた家は、お年寄りや障がい者、子どもや赤ちゃん、誰でも利用でき、一人一人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように応援されています。見せていただいた写真の中で、利用者さんやスタッフさんのたくさんの笑顔を見ることができました。



### <生徒の感想>

- ・今日の講義で私は、亡くなった（喜多さんの）おばあさんの「長生きして悪かった」という言葉がとても印象に残り、心が痛くなりました。お年寄りにとって、この世の中は「生きやすい」と感じていないように思いました。人間にとっての周りの人間の存在は本当に大きいものだと思います。「周りの人に迷惑をかけている」と誰一人思っほしくないです。そのためには、一人一人が一人のために理解するということが大切だと思います。ありがた家では、高齢者が小さな子どもと関わり、お互いがよい影響を受けていて、素晴らしい場所だと感じ、とても心が温まりもっともっと広まっていけばいいなと感じました。
- ・今まで高齢者疑似体験や車椅子体験で、同じ目線になって話すことの大切さは分かっていたけど、今回の講義で改めてその大切さがわかった。
- ・パンフレットとスライドを見て、利用者の方はもちろんなのですが、職員の方も楽しそうだなと思いました。きっと介護する、介護されるという関係ではなく、「家族」みたいな関係に感じました。また、「同じじゃなくていい」「自分らしく生きる」という言葉がすてきで印象に残っています。